

上下中学校トイレ改修工事

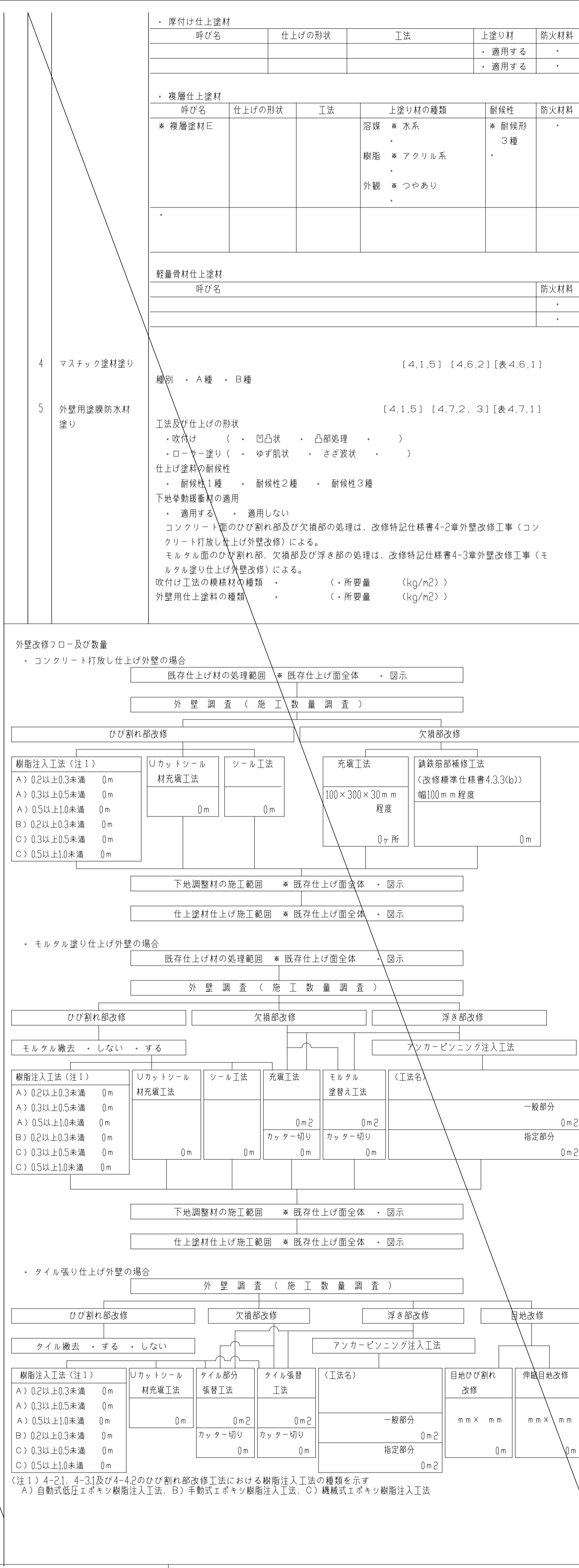
建築						電気設備			機械設備		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・目次	—	A-21	改修後 南校舎1階湯沸室・男女更衣室詳細図	1/50	E-01	電気設備特記仕様書	—	M-01	機械設備工事特記仕様書（一般共通事項）	—
A-01	建築特記仕様書（1）	—	A-22	改修前 南校舎2階トイレ詳細図	1/50	E-02	配置図・付近見取図	—	M-02	機械設備工事特記仕様書（工種別事項）	—
A-02	建築特記仕様書（2）	—	A-23	改修後 南校舎2階トイレ詳細図	1/50	E-03	改修前後 盤結線図	—	M-03	配置図・付近見取図	—
A-03	建築特記仕様書（3）	—	A-24	改修前 北校舎1階トイレ詳細図	1/50	E-04	照明器具・トイレ呼出機器 姿図	—	M-04	衛生設備 改修前後 器具表・管種凡例	—
A-04	建築特記仕様書（4）	—	A-25	改修後 北校舎1階トイレ詳細図	1/50	E-05	改修前後 電灯設備 南校舎1階平面詳細図	1/50	M-05	衛生設備 1階平面図	1/100
A-05	建築特記仕様書（5）	—	A-26	改修前 北校舎1階身障者便所・前室詳細図	1/50	E-06	改修前後 電灯設備 南校舎2階平面詳細図	1/50	M-06	衛生設備 2階平面図	1/100
A-06	配置図・付近見取図	—	A-27	改修後 北校舎1階多目的トイレ・前室・通路詳細図	1/50	E-07	改修前後 電灯設備 北校舎1階平面詳細図	1/50	M-07	改修前後 北校舎1,2階トイレ平面詳細図	1/50
A-07	改修前後 仕上表（1）	—	A-28	改修前 北校舎2階トイレ詳細図	1/50	E-08	改修前後 電灯設備 北校舎2階平面詳細図	1/50	M-08	改修前後 南校舎1,2階トイレ平面詳細図	1/50
A-08	改修前後 仕上表（2）	—	A-29	改修後 北校舎2階トイレ詳細図	1/50	E-09	改修前 コンセント設備 1階平面図	1/100	M-09	改修前後 北校舎1階多目的トイレ平面詳細図	1/50
A-09	工事区分表	—	A-30	改修前後 建具表	1/50	E-10	改修前 コンセント設備 2階平面図	1/100			
A-10	法チェック図	—	A-31	改修前後 部分詳細図（1）	図面による	E-11	改修後 コンセント設備 1階平面図	1/100			
A-11	改修前 1階平面図	1/100	A-32	改修前後 部分詳細図（2）	図面による	E-12	改修後 コンセント設備 2階平面図	1/100			
A-12	改修後 1階平面図	1/100	A-33	劣化図（1）	1/50	E-13	改修後 誘導支援設備 1階平面図	1/100			
A-13	改修前 2階平面図	1/100	A-34	劣化図（2）	1/50						
A-14	改修後 2階平面図	1/100	A-35	1階仮設計画図（参考図）	1/100						
A-15	改修前後 断面詳細図（1）	1/30	A-36	2階仮設計画図（参考図）	1/100						
A-16	改修前後 断面詳細図（2）	1/30	A-37								
A-17	改修前後 断面詳細図（3）	1/30	A-38								
A-18	改修前 南校舎1階トイレ詳細図	1/50	A-39								
A-19	改修後 南校舎1階トイレ詳細図	1/50	A-40								
A-20	改修前 南校舎1階湯沸室・男女更衣室詳細図	1/50									

3	1	降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ウ)～(ク)による。 〔3.1.3〕
	2	既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲 ※ 図示 ・) 〔3.1.4〕〔3.2.3、4、6〕 ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲 ※ 図示 ・) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (・ M4S ・ M4SI ・ M4C ・ M4D) ・ L4X)
	3	既存下地の処置	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 〔3.2.6〕 POS工法及びPOS工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の設置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)(ウ)(ク)(カ)による ・ 設備機室架台、配管受部、バケット、普通パイプ回り、手すり・丸境の取付け部、塔置出入口部等の欠損部及び防水層未施工箇所の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する
7	塗膜防水	防水層の種類 〔3.6.2、3〕	
	シーリング	シーリング改修工法の種類 〔3.7.2、3、3.7.7〕 ○ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドブレイカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類(記号)	



4	1	ポリマーセメントモルタル	(品質・性能) 〔4.2.2〕
	2	ポリマーセメントスラリー	(品質・性能) 〔4.2.2〕
	3	吸水調整材	改修標準仕様書表4.3.2による 〔4.3.5〕

4	既調査モルタル	〔4.3.5〕 モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、遅延剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。	
	(品質・性能)		
	項目	品質・性能	項目
保水率	70%以上	長さ変化率	0.20%以下
単位容積質量	1.80kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/m ² 以上
接着強さ	標準時 0.60N/mm ² 以上 温冷練り直後 0.40N/mm ² 以上		
(試験方法)	(1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロード板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5Aろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50×平均値×100 (注) 50:リング型わくの直径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ(標準時)の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付けする。直ちにJIS A 5209「セミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施す「50角ユニットタイル(外りの寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.10接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドノクターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、ノクター接着剤で試験アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエボキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び取り、(全てが0.6N/mm ² 以上を確保していること)また、試験後の部材断面位置の表示を下記の中から選び明記する。 T: タイルの母材破断 TM: 既調査モルタルとタイルの界面破断 M: 既調査モルタルの母材破断 MG: 既調査モルタルと下地板の界面破断 G: 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付けする。直ちにJIS A 5209「セミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施す「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚入れ、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ(温冷練り直後)の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷練り直後試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷練り直後試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸漬させた後、直ちに20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この2時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥れの有無を目視によって調べる。 (温冷練り直後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷練り直後試験完了後の試験体半状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm ² 以上を確保していること) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント遅延剤用ポリマーディスページョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。		
1	既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	〔4.5、4〕	
2	下地調整材	※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル 〔4.5、2〕	
3	仕上塗材仕上げ	〔4.1.5〕〔4.5.2〕〔表4.5.1〕 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 防火材料 ・ 外装調整塗材E	



5	1	改修工法	〔5.1.3〕
	2	防火戸	〔5.1.4〕 ・ 適用する 指定箇所(※ 建具表による ・) 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※ 連動させる 適用箇所(・ 建具表による ・) ・ 連動させない
5	3	見本の製作等	〔5.1.5〕 建具見本の製作 ・ 行う(建具符号: ・) ・ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う(建具符号: ・) ・ 行わない
	4	防火建物部品	〔5.1.7〕 ・ 適用する 適用箇所(※ 建具表による ・)
5	5	アルミニウム製建具	〔5.2.2～5〕〔表5.2.2〕 性能値等 ・ 耐風圧性の等級(・)、気密性の等級(・)、水密性の等級(・) ※ 改修標準仕様書表5.2.1による種別 外部に面する建具の種類 ・ A種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・) ・ B種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・) ・ C種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級(・) (建具符号: ・ 建具表による ・) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級(・) (建具符号: ・ 建具表による ・) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼製の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・ 表面処理 外部に面する建具 種類 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・ 色合等 ※ 標準色(・) ・ 特注色(・) 屋内の建具 種類 ○ BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 ※ 標準色(・) ・ 特注色(・) 結露水の処理方法 ※ 図示 ・ 取付工法 水切り版、ぜん版 ※ 図示 ・ 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する
	6	網戸等	〔5.2.3〕〔5.3.3〕
5	7	樹脂製建具	〔5.2.2〕〔5.3.2～5〕 性能値等 ・ 耐風圧性の等級(・)、気密性の等級(・)、水密性の等級(・) ※ 改修標準仕様書表5.3.1による種別 外部に面する建具の種類 ・ A種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・) ・ B種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・) ・ C種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・) 防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 (建具符号: ・ 建具表による ・) 断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 (建具符号: ・ 建具表による ・) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・ 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 取付工法 水切り版、ぜん版 ※ 図示 ・ 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する ガラス ※ 複層ガラス

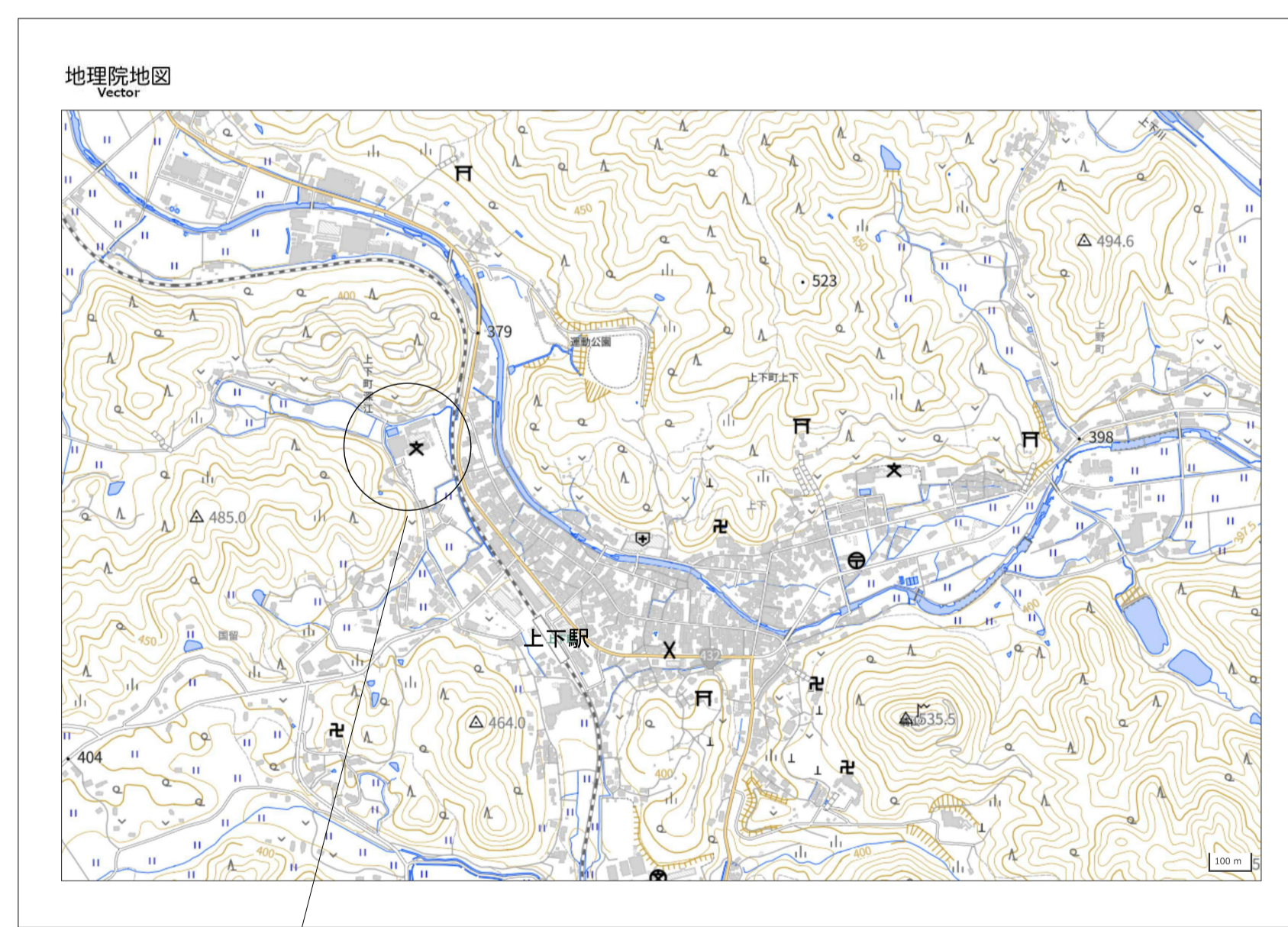
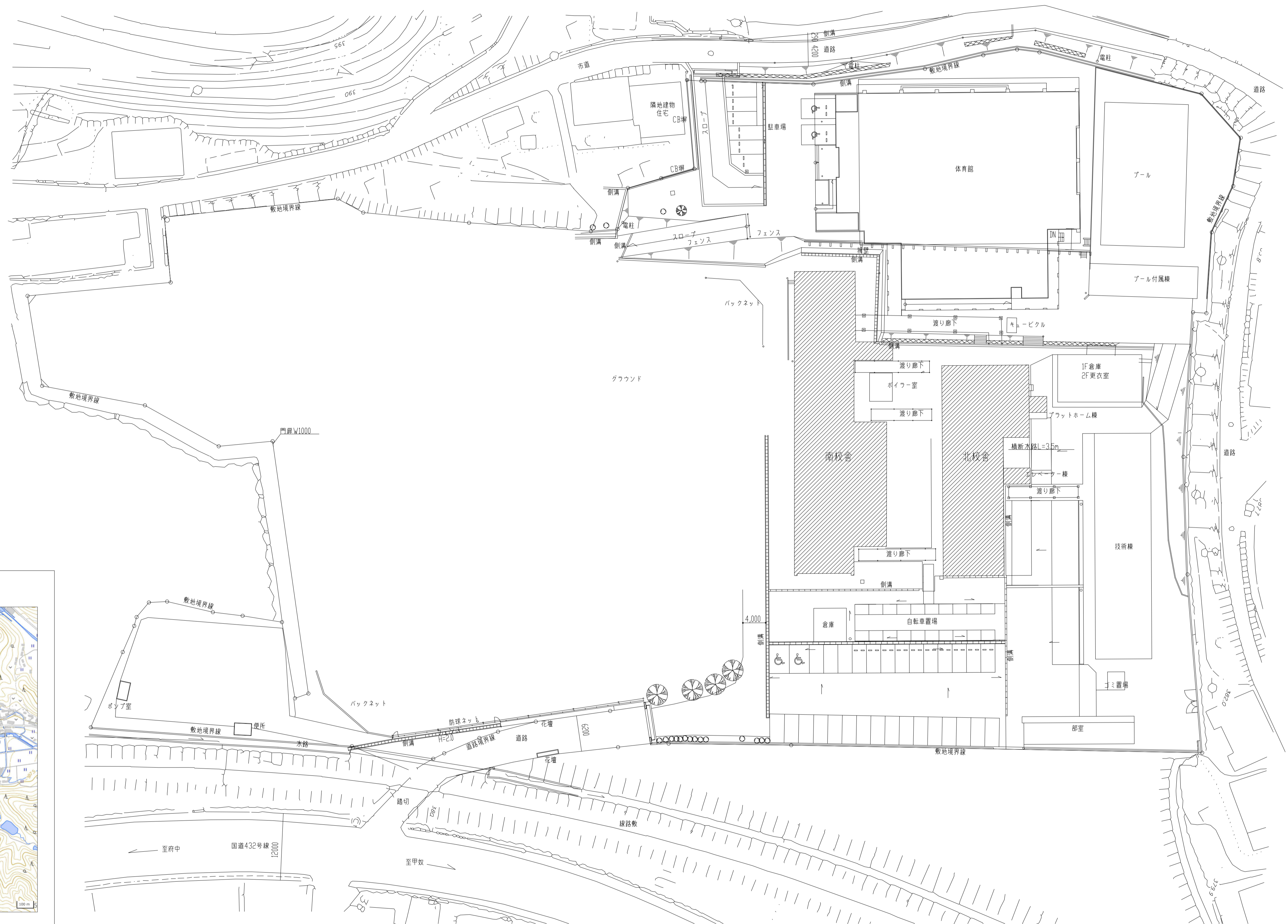
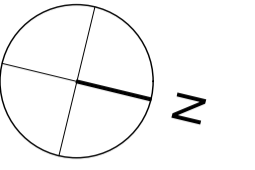
5	8	調製建具	<p>性能値等（建具符号：・建具表による） [5.2.2] [5.4.2～4] [表5.4.2]</p> <p>難燃気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>防音ドア、防音ワッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱ワッシ 断熱性の等級（ ）</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ）</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ＊ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ＊ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ＊ 改修標準仕様書表5.4.2による 使用箇所（ ） 標準型調製建具の形状及び寸法 ＊ 建具表による</p>							
		9	調製軽量建具	<p>性能値等（建具符号：・建具表による） [5.2.2] [5.5.2～4]</p> <p>難燃気密型ドアセット ・適用する</p> <p>防音ドア、防音ワッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱ワッシ 断熱性の等級（ ）</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ）</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板の材料 ＊ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カパー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ＊ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ＊ 改修標準仕様書表5.5.1による 使用箇所（ ）</p> <p>窓合せ、縦小口両面の材質 ＊ 鋼板 ・ 標準型調製建具の形状及び寸法 ＊ 建具表による</p>						
10	10	ステンレス製建具	<p>性能値等（建具符号：・建具表による） [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～5] [5.7.2、3]</p> <p>難燃気密型ドアセット ・適用する</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>防音ドア、防音ワッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱ワッシ 断熱性の等級（ ）</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ）</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ＊ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ＊ HL以上 形状及び仕上げ 表面仕上げ ＊ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ＊ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（・a角 ・ b角 ・ c角）</p>							
		11	建具用金物	<p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ＊ 改修標準仕様書表5.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ＊ 改修標準仕様書表5.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ＊ 標準仕様書表5.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ＊ 標準仕様書表5.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ＊ 標準仕様書表5.8.5による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ＊ 建具表による</p>						

<p><鍵></p> <p>1)かぎ（鍵）数は、15万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーロックが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。</p> <p>2)同一タンパーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンパーにおいては、キーの同一列のみは、最大2連続までとしていること。</p> <p>落鎖方法は、JIS A 1541-1（建築金物－錠－第1部：試験方法）による。</p>																																																																																									
<p>【レバーハンドル】</p> <p>（性能）</p> <p><ねじり強度></p> <p>レバーハンドルのねじり強度試験（35KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p> <p><引張強度></p> <p>ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p> <p><垂直荷重強度></p> <p>ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物－錠－第1部：試験方法）による。</p>																																																																																									
<p>クローザー類</p> <p>（品質・性能）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>① ドアクローザー</th> <th>② ヒンジクローザー</th> <th>③ フロアヒンジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性能試験項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">初期値</td> <td>閉じモーメント (N・m)</td> <td>閉じモーメント (N・m)</td> <td>閉じモーメント (N・m)</td> </tr> <tr> <td>効率 (%)</td> <td>効率 (%)</td> <td>効率 (%)</td> </tr> <tr> <td>1 5以上 30以上</td> <td>5以上 30以上</td> <td>5以上 30以上</td> </tr> <tr> <td>2 10以上 30以上</td> <td>10以上 30以上</td> <td>10以上 30以上</td> </tr> <tr> <td>3 15以上 35以上</td> <td>15以上 35以上</td> <td>15以上 35以上</td> </tr> <tr> <td>4 25以上 40以上</td> <td>25以上 40以上</td> <td>25以上 40以上</td> </tr> <tr> <td>5 35以上 45以上</td> <td>35以上 45以上</td> <td>35以上 45以上</td> </tr> <tr> <td>6 45以上 45以上</td> <td>45以上 45以上</td> <td>45以上 45以上</td> </tr> <tr> <td>閉じ速度 (秒)</td> <td>常温 (5～35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を5～8秒に調整できること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>温度依存性 (℃)</td> <td>揮発油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ストップ入力</td> <td>60N・m以下 但し、コンソールド型は200N・m以下</td> <td>100N・m以下</td> <td>100N・m以下</td> </tr> <tr> <td>ストップ解除力</td> <td>8N・m以上</td> <td>10N・m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">バックチェック性能 (秒)</td> <td>ドア開扉方向に荷重60N/m2を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度 (70～85°) から更に20°まで開く機構を有する機構のみ適用)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディレードアクション性能 (秒)</td> <td>開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>戸の開閉位置 (中心吊り込み面自由のみに適用)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>±3mm以内</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">耐久性</td> <td>繰り返し開閉後の閉じモーメント (N・m)</td> <td>Grade2 耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>繰り返し開閉後の効率 (%)</td> <td>Grade2 耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>繰り返し開閉後の閉じ速度 (秒)</td> <td>耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>繰り返し開閉後のバックチェック性能 (秒)</td> <td>耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>繰り返し開閉後のディレードアクション性能 (秒)</td> <td>耐久試験後上記初期値を満足していること。</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>繰り返し開閉後の戸閉鎖位置 (mm)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>耐久試験後±6mm以内</td> </tr> <tr> <td>耐久性の試験回数 (繰り返し開閉回数)</td> <td>Grade2 20万回</td> <td>10万回</td> <td>30万回</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1.パナール取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2.コンソールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 Grade1を満足する場合は、図示による。 (試験方法)</p> <p>1)性能試験は、JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法－第3部：フロアヒンジ、ドアクローザー及びヒンジクローザー）に規定する試験方法による。 2)試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。</p> <p>マスターキー ＊ 製作する（組） ○ 製作しない ・ 既存に給込む 鍵の製作本数 ＊ 名室3本1組（室名札付き） ・ 鍵箱 ＊ 設ける（個用組） ○ 設けない</p>		区分	① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ	性能試験項目				初期値	閉じモーメント (N・m)	閉じモーメント (N・m)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	効率 (%)	効率 (%)	1 5以上 30以上	5以上 30以上	5以上 30以上	2 10以上 30以上	10以上 30以上	10以上 30以上	3 15以上 35以上	15以上 35以上	15以上 35以上	4 25以上 40以上	25以上 40以上	25以上 40以上	5 35以上 45以上	35以上 45以上	35以上 45以上	6 45以上 45以上	45以上 45以上	45以上 45以上	閉じ速度 (秒)	常温 (5～35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を5～8秒に調整できること。			温度依存性 (℃)	揮発油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。			ストップ入力	60N・m以下 但し、コンソールド型は200N・m以下	100N・m以下	100N・m以下	ストップ解除力	8N・m以上	10N・m以上	バックチェック性能 (秒)	ドア開扉方向に荷重60N/m2を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度 (70～85°) から更に20°まで開く機構を有する機構のみ適用)	-	-	ディレードアクション性能 (秒)	開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	-	戸の開閉位置 (中心吊り込み面自由のみに適用)	-	-	±3mm以内	耐久性	繰り返し開閉後の閉じモーメント (N・m)	Grade2 耐久試験後上記初期値を満足していること。	耐久試験後上記初期値を満足していること。	耐久試験後上記初期値を満足していること。	繰り返し開閉後の効率 (%)	Grade2 耐久試験後上記初期値を満足していること。	耐久試験後上記初期値を満足していること。	耐久試験後上記初期値を満足していること。	繰り返し開閉後の閉じ速度 (秒)	耐久試験後上記初期値を満足していること。	-	-	繰り返し開閉後のバックチェック性能 (秒)	耐久試験後上記初期値を満足していること。	-	-	繰り返し開閉後のディレードアクション性能 (秒)	耐久試験後上記初期値を満足していること。	-	-	繰り返し開閉後の戸閉鎖位置 (mm)	-	-	耐久試験後±6mm以内	耐久性の試験回数 (繰り返し開閉回数)	Grade2 20万回	10万回	30万回
区分	① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ																																																																																						
性能試験項目																																																																																									
初期値	閉じモーメント (N・m)	閉じモーメント (N・m)	閉じモーメント (N・m)																																																																																						
	効率 (%)	効率 (%)	効率 (%)																																																																																						
	1 5以上 30以上	5以上 30以上	5以上 30以上																																																																																						
	2 10以上 30以上	10以上 30以上	10以上 30以上																																																																																						
	3 15以上 35以上	15以上 35以上	15以上 35以上																																																																																						
	4 25以上 40以上	25以上 40以上	25以上 40以上																																																																																						
	5 35以上 45以上	35以上 45以上	35以上 45以上																																																																																						
6 45以上 45以上	45以上 45以上	45以上 45以上																																																																																							
閉じ速度 (秒)	常温 (5～35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を5～8秒に調整できること。																																																																																								
温度依存性 (℃)	揮発油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。																																																																																								
ストップ入力	60N・m以下 但し、コンソールド型は200N・m以下	100N・m以下	100N・m以下																																																																																						
	ストップ解除力	8N・m以上	10N・m以上																																																																																						
バックチェック性能 (秒)	ドア開扉方向に荷重60N/m2を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度 (70～85°) から更に20°まで開く機構を有する機構のみ適用)	-	-																																																																																						
	ディレードアクション性能 (秒)	開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	-																																																																																						
戸の開閉位置 (中心吊り込み面自由のみに適用)	-	-	±3mm以内																																																																																						
耐久性	繰り返し開閉後の閉じモーメント (N・m)	Grade2 耐久試験後上記初期値を満足していること。	耐久試験後上記初期値を満足していること。	耐久試験後上記初期値を満足していること。																																																																																					
	繰り返し開閉後の効率 (%)	Grade2 耐久試験後上記初期値を満足していること。	耐久試験後上記初期値を満足していること。	耐久試験後上記初期値を満足していること。																																																																																					
	繰り返し開閉後の閉じ速度 (秒)	耐久試験後上記初期値を満足していること。	-	-																																																																																					
	繰り返し開閉後のバックチェック性能 (秒)	耐久試験後上記初期値を満足していること。	-	-																																																																																					
	繰り返し開閉後のディレードアクション性能 (秒)	耐久試験後上記初期値を満足していること。	-	-																																																																																					
	繰り返し開閉後の戸閉鎖位置 (mm)	-	-	耐久試験後±6mm以内																																																																																					
	耐久性の試験回数 (繰り返し開閉回数)	Grade2 20万回	10万回	30万回																																																																																					
<p>マスターキー ＊ 製作する（組） ○ 製作しない ・ 既存に給込む</p> <p>鍵の製作本数 ＊ 名室3本1組（室名札付き） ・</p> <p>鍵箱 ＊ 設ける（個用組） ○ 設けない</p>																																																																																									

19	ガラス	<p>(3, 7, 5, 14, 2～4) (図5.14.1)</p> <p>下記のガラス以外の種類、厚さの呼びによる種類等 ＊ 建具表による ・ 合わせガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ＊ 下記以外は建具表による ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料ガラスの種類、組合せ</th> <th>落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フロート板、フロート板合わせガラス</td> <td>・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類</td> </tr> </tbody> </table> <p>強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称及び特性による種類 ＊ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料ガラスによる種類</th> <th>材料ガラス</th> <th>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フロート強化ガラス</td> <td>・ フロート板ガラス</td> <td>・ I類 ・ III類</td> </tr> </tbody> </table> <p>熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ＊ 下記以外は建具表による ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料ガラスによる種類</th> <th>性能による種類</th> <th>色調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td>・ グリーン</td> </tr> <tr> <td>・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複層ガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ＊ 下記以外は建具表による ・</p> <p>断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6</p> <p>乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S</p> <p>熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ＊ 下記以外は建具表による ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料ガラスによる種類</th> <th>日射熱遮蔽性による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・ 1種</td> <td>A類</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 2種</td> <td>・ A類 ・ B類</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 3種</td> <td>B類</td> </tr> </tbody> </table> <p>色調（・ブルー ・ グレー ・ ）</p> <p>反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面 映像調整 ・ 行わない ・ 行う</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>＊ シーリング材 ・ ガスケット ・ クレイジングチャンネル形</td> <td>＊ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>＊ シーリング材</td> <td>＊ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>＊ シーリング材</td> <td>＊ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>＊ シーリング材 ・ ガスケット ・ クレイジングチャンネル形</td> <td>＊ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [5.14.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>乳白</th> <th>平積み</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>留締調整目地位置 (mm)</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 正方形</td> <td>・ 160×160</td> <td>・ 95 ・ 125</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>＊ 8～15</td> <td>外側 ＊ 標準仕様書5.14.5(2)(a)② ・ 内側 ＊ 標準仕様書5.14.5(2)(a)② ・</td> <td>＊ 6mm以下 ・ 無し ・ 有り ・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 200×200</td> <td>・ 95 ・ 125</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ＊ 図示 ・</p> <p>骨格 材質 ＊ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ＊ 径5.5mm ・ 形状 ＊ はしご形状補強及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ） シーリングの種類（ ） 金属化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ＊ 図示 ・ 形状 ＊ 図示 ・</p> <p>工法 1章 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・ 1.5 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 目地部の構力骨の納まり ＊ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示</p>	材料ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類	・ フロート板、フロート板合わせガラス	・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類	材料ガラスによる種類	材料ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・ フロート強化ガラス	・ フロート板ガラス	・ I類 ・ III類	材料ガラスによる種類	性能による種類	色調	・ 熱線吸収フロート板ガラス	・ 1種 ・ 2種	・ グリーン	・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス			材料ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分	・	・ 1種	A類	・	・ 2種	・ A類 ・ B類	・	・ 3種	B類	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	＊ シーリング材 ・ ガスケット ・ クレイジングチャンネル形	＊ 建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	＊ シーリング材	＊ 建具の製造所の仕様による	ステンレス製	＊ シーリング材	＊ 建具の製造所の仕様による	樹脂製	＊ シーリング材 ・ ガスケット ・ クレイジングチャンネル形	＊ 建具の製造所の仕様による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	乳白	平積み	目地幅 (mm)	留締調整目地位置 (mm)	耐火性能	・ 正方形	・ 160×160	・ 95 ・ 125	・	・	・	＊ 8～15	外側 ＊ 標準仕様書5.14.5(2)(a)② ・ 内側 ＊ 標準仕様書5.14.5(2)(a)② ・	＊ 6mm以下 ・ 無し ・ 有り ・ 図示		・ 200×200	・ 95 ・ 125	・	・	・			
		材料ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類																																																																								
・ フロート板、フロート板合わせガラス	・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類																																																																										
材料ガラスによる種類	材料ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類																																																																									
・ フロート強化ガラス	・ フロート板ガラス	・ I類 ・ III類																																																																									
材料ガラスによる種類	性能による種類	色調																																																																									
・ 熱線吸収フロート板ガラス	・ 1種 ・ 2種	・ グリーン																																																																									
・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス																																																																											
材料ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																																									
・	・ 1種	A類																																																																									
・	・ 2種	・ A類 ・ B類																																																																									
・	・ 3種	B類																																																																									
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																									
アルミニウム製	＊ シーリング材 ・ ガスケット ・ クレイジングチャンネル形	＊ 建具の製造所の仕様による																																																																									
鋼製及び鋼製軽量	＊ シーリング材	＊ 建具の製造所の仕様による																																																																									
ステンレス製	＊ シーリング材	＊ 建具の製造所の仕様による																																																																									
樹脂製	＊ シーリング材 ・ ガスケット ・ クレイジングチャンネル形	＊ 建具の製造所の仕様による																																																																									
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	乳白	平積み	目地幅 (mm)	留締調整目地位置 (mm)	耐火性能																																																																			
・ 正方形	・ 160×160	・ 95 ・ 125	・	・	・	＊ 8～15	外側 ＊ 標準仕様書5.14.5(2)(a)② ・ 内側 ＊ 標準仕様書5.14.5(2)(a)② ・	＊ 6mm以下 ・ 無し ・ 有り ・ 図示																																																																			
	・ 200×200	・ 95 ・ 125	・	・	・																																																																						
20	ガラスブロック積み	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th colspan="2">記号</th> <th rowspan="2">その他性能等</th> </tr> <tr> <th>内張り用</th> <th>外張り用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 日射調整フィルム</td> <td>・ SC-1</td> <td>・ SC-2</td> <td>日射遮へい性能による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E</td> </tr> <tr> <td>・ 低放射フィルム</td> <td>LE</td> <td></td> <td>熱線透過率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D</td> </tr> <tr> <td>・ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td> <td>・ GI-1</td> <td>・ GI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td> <td>・ GD-1</td> <td>・ GD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガラス貫通防止フィルム</td> <td>SF</td> <td></td> <td>ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質 JIS A5759による</p>	種類	記号		その他性能等	内張り用	外張り用	・ 日射調整フィルム	・ SC-1	・ SC-2	日射遮へい性能による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E	・ 低放射フィルム	LE		熱線透過率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D	・ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・ GI-1	・ GI-2		・ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・ GD-1	・ GD-2		・ ガラス貫通防止フィルム	SF		ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B																																															
		種類	記号		その他性能等																																																																						
内張り用	外張り用																																																																										
・ 日射調整フィルム	・ SC-1	・ SC-2	日射遮へい性能による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E																																																																								
・ 低放射フィルム	LE		熱線透過率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D																																																																								
・ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・ GI-1	・ GI-2																																																																									
・ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・ GD-1	・ GD-2																																																																									
・ ガラス貫通防止フィルム	SF		ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B																																																																								
21	ガラス用フィルム	<p>21</p>																																																																									

6	内装改修工事	<p>① 他の部位との取り合い等</p> <p>既存内切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 [6.1.3]</p> <p>＊ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ＊ 壁面より面側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ＊ 既存のまま ・ 図示</p>																																																																																																																															
		<p>② 既存床の撤去及び下地補修</p> <p>ビニル床シート等の撤去 ＊ 仕上げのみ（接着剤とも） ・ 下地モルタルとも（ ・ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て）</p> <p>合成樹脂塗床材の除去工法 ○ 機械的除去工法 ・ 目尻工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。</p>																																																																																																																															
4	製材	<p>③ 既存壁の撤去及び下地補修</p> <p>隣仕切壁撤去に伴う他の構造体の修繕 [6.3.2]</p> <p>＊ 改修標準仕様書4.3.1によるモルタル塗り （仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処理 ＊ 図示 ・ ）</p>																																																																																																																															
		<p>ホルムアルデヒド放散量 ＊ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による ・ ・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存</th> <th>簡易材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td>＊ 2級</td> <td>＊ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td>＊ 2級</td> <td>＊ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存</th> <th>簡易材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td>＊ 上小節</td> <td>＊ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td>＊ 小節以上</td> <td>＊ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存</th> <th>簡易材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>＊ 1等</td> <td>＊ 10%以下</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>＊ 1等</td> <td>＊ 10%以下</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>簡易材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>＊ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 ＊ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による ・ ・ 「集材材の日本森林規格」による造作用集材材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>簡易材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>＊ 1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「集材材の日本森林規格」による化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>簡易材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>＊ 1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「集材材の日本森林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>簡易材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>＊ 15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「集材材の日本森林規格」以外の化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>簡易材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>＊ 15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>化粧薄板： 芯材：</p>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	簡易材等の適用	見え掛り面	＊ 2級	＊ A種 ・ B種				見え掛り面以外	＊ 2級	＊ A種 ・ B種				施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	簡易材等の適用	見え掛り面	＊ 上小節	＊ A種 ・ B種				見え掛り面以外	＊ 小節以上	＊ A種 ・ B種				施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	簡易材等の適用			＊ 1等	＊ 10%以下	・ A種 ・ B種				＊ 1等	＊ 10%以下	・ A種 ・ B種		施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	簡易材等の適用				・ 適用する ・ 適用しない	＊ A種 ・ B種		施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	簡易材等の適用						＊ 1等 ・ 2等		施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	簡易材等の適用							＊ 1等 ・ 2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	簡易材等の適用						＊ 15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	簡易材等の適用						＊ 15%以下				
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	簡易材等の適用																																																																																																																												
見え掛り面	＊ 2級	＊ A種 ・ B種																																																																																																																															
見え掛り面以外	＊ 2級	＊ A種 ・ B種																																																																																																																															
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	簡易材等の適用																																																																																																																												
見え掛り面	＊ 上小節	＊ A種 ・ B種																																																																																																																															
見え掛り面以外	＊ 小節以上	＊ A種 ・ B種																																																																																																																															
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	簡易材等の適用																																																																																																																												
		＊ 1等	＊ 10%以下	・ A種 ・ B種																																																																																																																													
		＊ 1等	＊ 10%以下	・ A種 ・ B種																																																																																																																													
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	簡易材等の適用																																																																																																																												
			・ 適用する ・ 適用しない	＊ A種 ・ B種																																																																																																																													
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	簡易材等の適用																																																																																																																											
					＊ 1等 ・ 2等																																																																																																																												
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	簡易材等の適用																																																																																																																										
						＊ 1等 ・ 2等																																																																																																																											
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	簡易材等の適用																																																																																																																											
					＊ 15%以下																																																																																																																												
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	簡易材等の適用																																																																																																																											
					＊ 15%以下																																																																																																																												

府中市建設部	作成年月日	R06.09	都市デザイン課	課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員	訂正		特記	工事名	上下中学校トイレ改修工事	図面内容・縮尺	建築特仕仕様書（3）	図面番号	A-03	区分	建築図
--------	-------	--------	---------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	--	----	-----	--------------	---------	------------	------	------	----	-----



府中市立上下中学校
府中市上下町上下915

付近見取図

配置図 1/400

府中市建設部
都市デザイン課

R06.09

課長	係長	課員	課員

課長	係長	課員	課員

設計	監理	監理	監理

工事名 上下中学校トイレ改修工事
図面内容・縮尺 配置図・付近見取図

工事概要

外部仕上表

施設名称	府中市立上下中学校	場 所	部 位	改 修 前	改 修 後	備 考	
				下地・仕上	下地・仕上		
工事場所	府中市上下町上下9 1 5	基 礎 (南校舎 湯沸室・更衣室の外部)	巾木	コンクリート下地の上、モルタル塗り	既存のまま	穿孔の上、通気口・換気ガラリ取付	
構造	鉄筋コンクリート造						
建物規模	3階建て 延床面積 2,784.00 m ²						
工事種別	改修工事						
	①トイレ 劣化部補修、乾式化、洋式化、器具更新 ブースレイアウト変更、入口扉撤去新設						
	②南校舎1階湯沸室・更衣室 床撤去新設、床下通気新設 ③北校舎1階身障者便所 器具更新、建具撤去・新設 パーテーション撤去、間仕切壁新設						

内部仕上表

棟階	室名		床			巾木			壁			天井			備考
			下地	仕 上	FL	仕 上	H	下地	仕 上	CH	下地	仕 上	廻り縁		
南1F	トイレ	改修前	CON	モルタル下地の上、モザイクタイル 50角 (一部)モルタル下地の上、ビニル床シート 2t 仕上撤去	±0	-	-	CON CB撤去	モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 劣化部撤去 (一部壁)モルタル下地の上、複層塗材E ケレン (一部腰壁)モルタル下地の上、羽目板 8.5t (ライニング)モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 撤去	2,675	LGS	FK 900角 6t VP塗装 仕上撤去	塩ビ撤去	トイレブース、手摺、ライニング 撤去 排水溝蓋・蓋受アングル、天井点検口 撤去 入口扉 撤去 枠共 大小便器、紙巻器、手洗水栓 撤去(M) 和便器カット(M)、照明機器 撤去(E)	
		改修後	CON	下地調整、エポキシ系樹脂モルタル 1t(2回塗) の上、ビニル床シート 2t 新設 (一部)下地調整の上、ビニル床シート 2t 新設	±0	-	-	CON LGS新設	既設タイル 水洗い(劣化部)磁器質タイル 100角 新設 (一部壁)下地調整の上、複層塗材E 新設 (一部腰壁)既存のまま (ライニング)GB-S 9.5tの上、メラミン化粧板 3t 新設	2,675	LGS	FK 900角 6t 新設の上、EP塗装	塩ビ新設	トイレブース、手摺 新設、入口扉 新設 ライニング 新設(天板・ホストフォームカッター 20t) 天井点検口 新設、既設木枠 SOP塗装 大小便器、紙巻器、手洗水栓 新設(M) 照明機器 新設(E)	
	湯沸室・男女更衣室	改修前	CON	鋼製床下地の上、構造用合板 12t +合板 5t +ビニル床シート 2t 下地・仕上撤去	±0	ビニル巾木 撤去	100	CON	モルタル下地の上、複層塗材E	2,500	LGS	GB-D 450×900 9.5t 一部取外し	塩ビ一部取外し	キッチン、収納棚 取外し SUS床見切り 取外し レンジフード 取外し	
		改修後	CON	鋼製床下地の上、構造用合板 12t +合板 5t +ビニル床シート 2t 新設 床下断熱材 押出法ポリスチレンフォーム 2種b 30t 新設	±0	ビニル巾木 新設	100	CON	既存のまま	2,500	LGS	(一部)GB-D 450×900 9.5t 再取付	塩ビ一部再取付	キッチン、収納棚 再取付 SUS床見切り 再取付 レンジフード 再取付 天井点検口 新設	
昇降場		改修前	CON	モルタル下地の上、ビニル床シート 2t モルタル下地の上、磁器質タイル 100角	±0 ±0	ビニル巾木 大理石	100 100	CON	モルタル下地の上、複層塗材E	2,500	LGS	GB-D 450×900 9.5t 一部取外し	塩ビ一部取外し		
		改修後	CON	既存のまま	±0	既存のまま	100	CON	既存のまま	2,500	LGS	(一部)GB-D 450×900 9.5t 再取付	塩ビ一部再取付	天井点検口 新設	
南2F	トイレ	改修前	CON	モルタル下地の上、モザイクタイル 50角 (一部)モルタル下地の上、ビニル床シート 2t 仕上撤去	±0	-	-	CON CB撤去	モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 劣化部撤去 (袖壁)モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 撤去 (一部壁)モルタル下地の上、複層塗材E (一部腰壁)モルタル下地の上、羽目板 8.5t 一部撤去 (ライニング)モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 撤去	2,640	LGS	FK 900角 6t VP塗装 仕上撤去	塩ビ撤去	トイレブース、手摺、ライニング 撤去 排水溝蓋・蓋受アングル、天井点検口 撤去 入口扉 撤去 枠共、木製ベンチ 一部撤去 大小便器、紙巻器 撤去(M) 和便器カット(M)、照明機器 撤去(E)	
		改修後	CON	下地調整、エポキシ系樹脂モルタル 1t(2回塗) の上、ビニル床シート 2t 新設 (一部)下地調整の上、ビニル床シート 2t 新設	±0	-	-	CON LGS新設	既設タイル 水洗い(劣化部)磁器質タイル 100角 新設 (袖壁撤去部)モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 新設 (一部壁)既存のまま (一部腰壁)既存のまま (ライニング)GB-S 9.5tの上、メラミン化粧板 3t 新設	2,640	LGS	FK 900角 6t 新設の上、EP塗装	塩ビ新設	トイレブース、手摺 新設、入口扉 新設 枠共 ライニング 新設(天板・ホストフォームカッター 20t) 天井点検口 新設、既設木枠 SOP塗装 木製ベンチ 一部新設 大小便器、紙巻器 新設(E)、照明機器 新設(E)	

備考・凡例

共通事項	略号	凡例	防火認定材料	その他凡例
※ hは高さ、wは幅、tは厚み、Dは奥行を示す。 ※ 内装材、接着剤、家具、建具仕上等はすべてノンアスベスト品・F☆☆☆☆材を使用する。 ※ 天井裏の建築材料はF☆☆☆☆材を使用する。 ※ クロリルピホスを含有する製品、材料は使用しない。 ※ 廻り縁は特記なき場合突付けとし、塩ビ製コの字タイプとする。 ※ 下がり天井の見切り・コーナー材は、特記なき場合塩ビ製とする。 ※ 鉄部については錆止め塗装(工場1回、現場1回)を行う。 ※ 木製造物で特記のないものの樹種はすべて米桐とする。 ※ 家具類はすべて耐震止めを行うこと。 ※ トイレ・給湯室等の水廻りに使用するシーリング材はすべて防カビ使用とする。 ※ カーテン、絨毯類は防災物品とする。 ※ トイレのビニル床シートは超防汚性とする。 ※ トイレの壁に使用するタイルは既設のタイルと色を合わせる。 ※ 室名() 書きは改修前の名称を表す。	CON コンクリート MO モルタル ALC 軽量気泡コンクリートパネル LGS 鋼製天井・壁下地材 SUS ステンレス CB コンクリートブロック GB-R せっこうボード GB-F 強化せっこうボード GB-S シーリングせっこうボード GB-D 化粧せっこうボード GB-NC 不燃積層せっこうボード GB-P 吸音用穴あきせっこうボード HW板 硬質木毛セメント板 NW板 普通木毛セメント板 FK ケイ酸カルシウム板 化粧FK 化粧ケイ酸カルシウム板	DR 岩綿吸音板 TB テラソブロック 人研 人造石研ぎ出し GW-B 合成樹脂調合ペイント SOP クリアラッカー塗り CL コンクリートブロック NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り DP 耐候性塗料塗り EP 合成樹脂系エマルジョンペイント塗り EP-G つや有合成樹脂系エマルジョンペイント塗り EP-T 合成樹脂系エマルジョン模様塗料塗り UC ウレタン樹脂ワニス塗り OS オイルステイン塗り WP 木材程塗料塗り HL ヘアライン仕上げ	せっこうボード GB-R 9.5t せっこうボード GB-R 12.5t 15t 強化せっこうボード GB-F 21t シーリングせっこうボード GB-S 9.5t 12.5t シーリングせっこうボード GB-S 12.5t 化粧せっこうボード GB-D 9.5t 不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5t 吸音用穴あきせっこうボード GB-P 9.5t ケイ酸カルシウム板 FK 6t 化粧ケイ酸カルシウム板 化粧FK 6t 岩綿吸音板 DR 9t 12t メラミン化粧板 3t ビニルクロス	【工事区分 凡例】 (M)：機械設備工事 (E)：電気設備工事

府中市建設部	R06.09	課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員	工事名	上下中学校トイレ改修工事	A-07
都市デザイン課										図面内容・縮尺	改修前後 仕上表(1)	建築図

内部仕上表

棟階	室名		床			巾木			壁			天井				備考
			下地	仕上	FL	仕上	H	下地	仕上	CH	下地	仕上	廻り縁			
北1F	トイレ	改修前	CON	モルタル下地の上、モザイクタイル 50角 (一部)モルタル下地の上、ビニル床シート 2t 仕上撤去	±0	-	-	CON CB撤去	モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 劣化部撤去 (ライニング)モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 撤去	2,480	LGS	FK 900角 6t VP塗装 仕上撤去	塩ビ撤去	トイレブース、手摺、ライニング 撤去 排水溝蓋・蓋受アングル、天井点検口 撤去 大小便器、紙巻器 撤去(M) 和便器カット(M)、照明機器 撤去(E)		
		改修後	CON	下地調整、エポキシ系樹脂モルタル 1t(2回塗) の上、ビニル床シート 2t 新設 (一部)下地調整の上、ビニル床シート 2t 新設	±0	-	-	CON LGS新設	既設タイル 水洗い(劣化部)磁器質タイル 100角 新設 (ライニング)GB-S 9.5tの上、メラミン化粧板 3t 新設	2,480	LGS	FK 900角 6t 新設の上、EP塗装	塩ビ新設	トイレブース、手摺 新設 ライニング 新設(天板・ホストフォームカッター 20t) 天井点検口 新設、既設木枠 SOP塗装 大小便器、紙巻器 新設(E) 照明機器 新設(E)		
	多目的トイレ (身障者便所・シャワー室)	改修前	CON	モルタル下地の上、合成樹脂塗床 ケレン	±0	-	-	CON	モルタル下地の上、EP-G塗装 ケレン	3,000	LGS CON	FK 6t EP-G塗装 ケレン 一部撤去 モルタル下地の上、EP-G塗装 ケレン	塩ビ	手摺 撤去 大便器、手洗い器、水栓、紙巻器 撤去(M) 照明機器 撤去(E)		
		改修後	CON	下地調整の上、合成樹脂塗床(防滑) 0.2t 新設	±0	-	-	CON	下地調整の上、EP-G塗装	3,000	LGS CON	下地調整の上、EP-G塗装 (撤去部)FK 6t 新設の上、EP-G塗装 下地調整の上、EP-G塗装	既存のまま	手摺 新設 大便器、手洗水栓、紙巻器 新設(M) 照明機器、呼出警報器 新設(E)		
	前室	改修前	CON	モルタル下地の上、ビニル床シート 2t 仕上撤去	±0	ビニル巾木 撤去	100	CON LGS撤去	モルタル下地の上、複層塗材E (間仕切壁)GB-R 12.5tの上、VP塗装 撤去	3,000	LGS	FK 6t EP塗装 一部撤去	木製 一部撤去	照明機器 撤去(E)		
		改修後	CON	下地調整の上、ビニル床シート 2t 新設	±0	ビニル巾木 新設	100	CON LGS新設	既存のまま (間仕切壁)GB-R 12.5tの上、EP塗装 新設	3,000	LGS	(撤去部)FK 6t 新設 EP塗装	塩ビ 一部新設	照明機器 新設(E)		
通路(前室)	改修前	CON	モルタル下地の上、タイルカーペット 4t 仕上撤去	±0	ビニル巾木 撤去	100	CON	モルタル下地の上、複層塗材E	3,000	LGS CON	有孔化粧石膏吸音ボード 9.5t 一部撤去 (梁型)モルタル下地の上、複層塗材E	塩ビ・木製	パーテーション 撤去 カーテン 撤去(レール・吊金物共) 照明機器 撤去(E)			
	改修後	CON	下地調整の上、ビニル床シート 2t 新設	±0	ビニル巾木 新設	100	CON LGS新設	既存のまま GB-F 12.5t+12.5t(両面)【認定番号:FP060NP-0289】新設 (天井裏まで立上げ)の上、EP塗装	3,000	LGS CON	(撤去部) 有孔化粧石膏吸音ボード 9.5t 新設 (梁型)既存のまま	既存のまま	照明機器 新設(E)			
特別支援教室	改修前	CON	モルタル下地の上、ビニル床シート 2t 一部撤去	±0	ビニル巾木 一部撤去	100	CON	モルタル下地の上、複層塗材E	3,000	LGS CON	有孔化粧石膏吸音ボード 9.5t 一部撤去 (梁型)モルタル下地の上、複層塗材E	塩ビ 一部撤去				
	改修後	CON	(撤去部)ビニル床シート 2t 新設	±0	ビニル巾木 一部新設	100	CON LGS新設	既存のまま GB-F 12.5t+12.5t(両面)【認定番号:FP060NP-0289】新設 (天井裏まで立上げ)の上、EP塗装	3,000	LGS CON	(撤去部) 有孔化粧石膏吸音ボード 9.5t 新設 (梁型)既存のまま	塩ビ 一部新設				
北2F	トイレ	改修前	CON	モルタル下地の上、モザイクタイル 50角 (一部)モルタル下地の上、ビニル床シート 2t 仕上撤去	±0	-	-	CON CB撤去	モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 劣化部撤去 (ライニング)モルタル下地の上、磁器質タイル 100角 撤去	2,500	LGS	FK 900角 6t VP塗装 仕上撤去	塩ビ 撤去	トイレブース、手摺、ライニング 撤去 排水溝蓋・蓋受アングル、天井点検口 撤去 大小便器、紙巻器 撤去(M) 和便器カット(M)、照明機器 撤去(E)		
		改修後	CON	下地調整、エポキシ系樹脂モルタル 1t(2回塗) の上、ビニル床シート 2t 新設 (一部)下地調整の上、ビニル床シート 2t 新設	±0	-	-	CON LGS新設	既設タイル 水洗い(劣化部)磁器質タイル 100角 新設 (ライニング)GB-S 9.5tの上、メラミン化粧板 3t 新設	2,500	LGS	FK 900角 6t 新設の上、EP塗装	塩ビ 新設	トイレブース、手摺 新設 ライニング 新設(天板・ホストフォームカッター 20t) 天井点検口 新設、既設木枠 SOP塗装 大小便器、紙巻器 新設(M) 照明機器 新設(E)		

備考・凡例

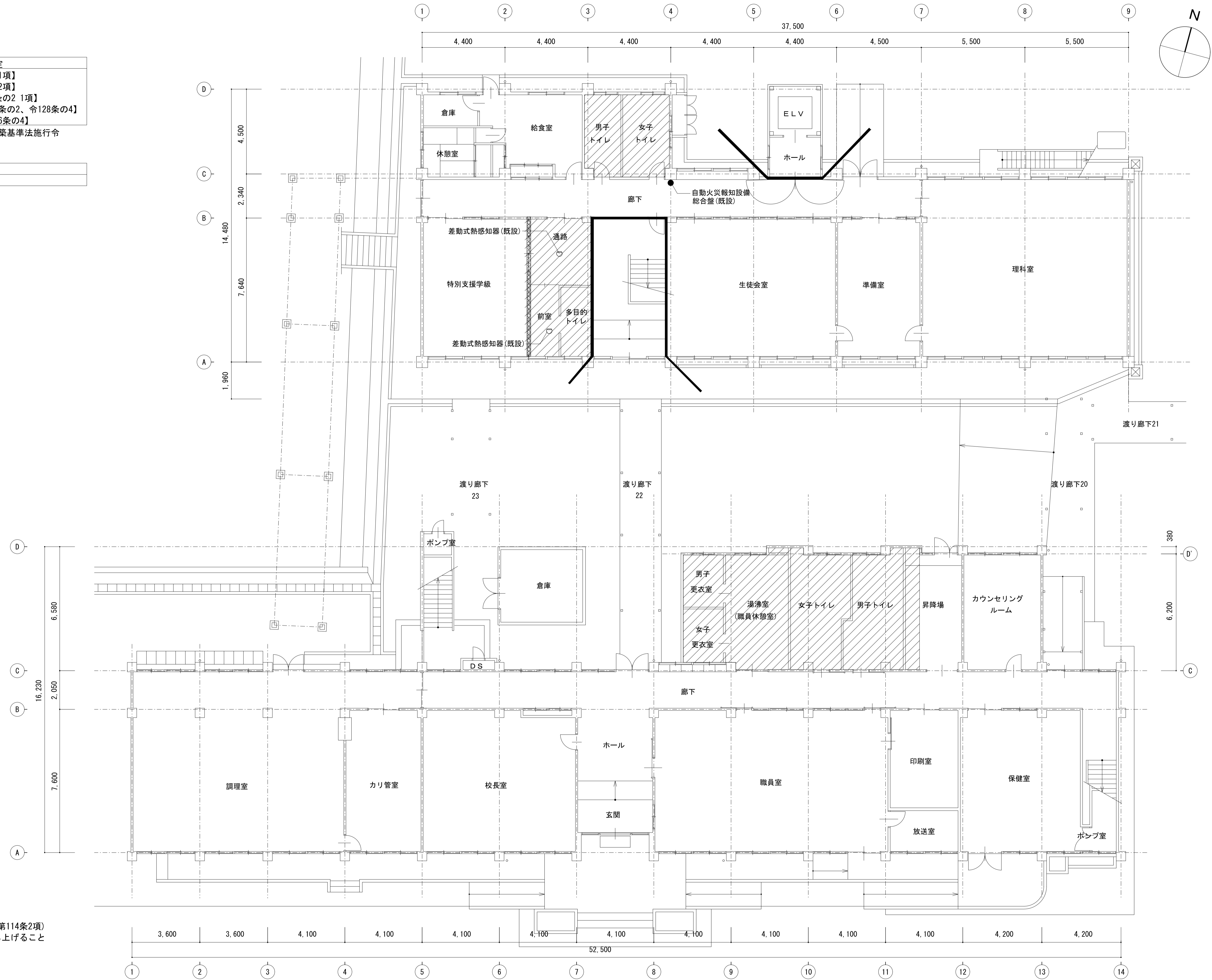
＜ 共 通 事 項 ＞	＜ 略 号 凡 例 ＞	＜ 防 火 認 定 材 料 ＞	＜ そ の 他 凡 例 ＞		
※ hは高さ、wは幅、tは厚み、Dは奥行を示す。 ※ 内装材、接着剤、家具、建具仕上等はすべてノンアベスト品・F☆☆☆☆材を使用する。 ※ 天井裏の建築材料はF☆☆☆☆材を使用する。 ※ クロロビリホスを含有する製品、材料は使用しない。 ※ 廻り縁は特記なき場合突付けとし、塩ビ製コの字タイプとする。 ※ 下がり天井の見切り・コーナー材は、特記なき場合塩ビ製とする。 ※ 鉄部については錆止め塗装(工場1回、現場1回)を行う。 ※ 木製製作物で特記のないものの樹種はすべて米桐とする。 ※ 家具類はすべて耐震止めを行うこと。 ※ トイレ・給湯室等の水廻りに使用するシーリング材はすべて防カビ使用とする。 ※ カーテン、絨毯類は防災物品とする。 ※ トイレのビニル床シートは超防汚性とする。 ※ トイレの壁に使用するタイルは既設のタイルと色を合わせる。 ※ 室名() 書きは改修前の名称を表す。	CON コンクリート MO モルタル ALC 軽量気泡コンクリートパネル LGS 鋼製天井・壁下地材 SUS ステンレス CB コンクリートブロック GB-R せっこうボード GB-F 強化せっこうボード GB-S シーリングせっこうボード GB-D 化粧せっこうボード GB-NG 不燃積層せっこうボード GB-P 吸音用穴あきせっこうボード HW板 硬質木毛セメント板 NW板 普通木毛セメント板 FK ケイ酸カルシウム板 化粧FK 化粧ケイ酸カルシウム板	DR 岩綿吸音板 TB テラゾブロック 人研 人造石研ぎ出し GW-B 合成樹脂調合ペイント SOP クリアラッカー塗り CL コンクリートブロック NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り DP 耐候性塗料塗り EP 合成樹脂系エマルジョンペイント塗り EP-G つや有合成樹脂系エマルジョンペイント塗り EP-T 合成樹脂系エマルジョン模様塗料塗り UC ウレタン樹脂ワニス塗り OS オイルステイン塗り WP 木材程塗料塗り HL ヘアライン仕上げ	せっこうボード GB-R 9.5t せっこうボード GB-R 12.5t 15t 強化せっこうボード GB-F 21t シーリングせっこうボード GB-S 9.5t 12.5t シーリングせっこうボード GB-S 12.5t 化粧せっこうボード GB-D 9.5t 不燃積層せっこうボード GB-NG 9.5t 吸音用穴あきせっこうボード GB-P 9.5t ケイ酸カルシウム板 FK 6t 化粧ケイ酸カルシウム板 化粧FK 6t 岩綿吸音板 DR 9t 12t ウレタン樹脂ワニス塗り 3t ビニルクロス	QM-9828 NM-8619 NM-8615 QM-0898、QM-0493 NM-9346、NM-9639 GM-0831、QM-0524 NM-0441 NM-0461 NM-8522 NM-3352 NM-8599、NM-2816 NM-2183 NM-3991他	【工事区分 凡例】 (M) : 機械設備工事 (E) : 電気設備工事

工事区分表 ※○が付いている項目を適用する。 注) 複数の工事が適用となっている項目については、それぞれの工事に関連する箇所を当該工事の範囲とする。

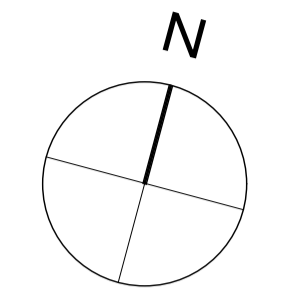
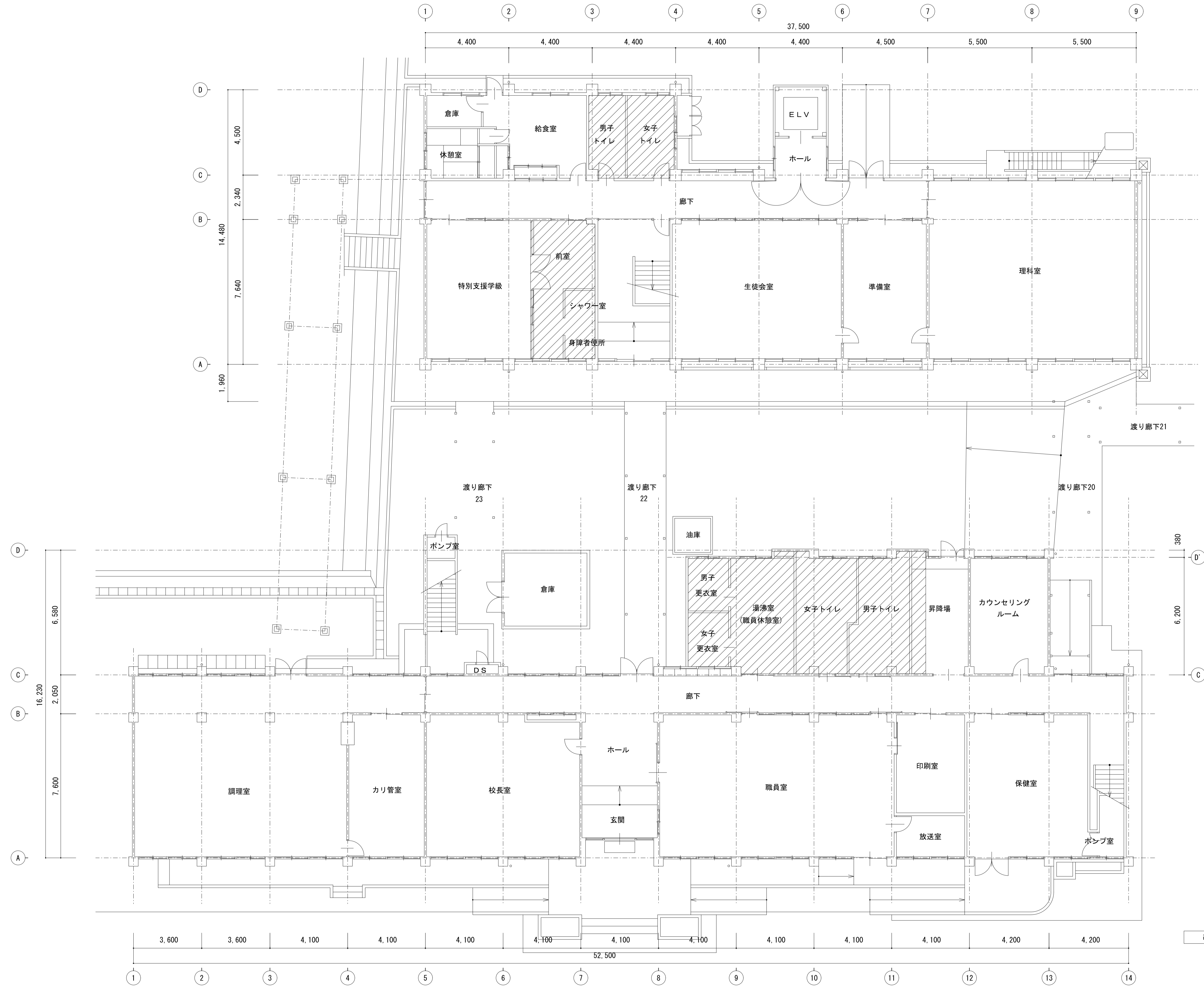
番号	項目	細目	建築	電気設備	機械設備	備考	番号	項目	細目	建築	電気設備	機械設備	備考
1	基礎	(1) 屋上基礎 (2) 屋内基礎 (3) 屋外基礎 (4) 外灯基礎 (5) 屋上及び屋外の設備用基礎 (6) 設備用架台、固定用アンカーボルト	- - - - -	-	-	ただし、(4)及び(5)を除く	8	設備間の取合	(1) 機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共） (2) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 (3) 自動制御盤と動力制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管配線 (4) 操作回路の渡り配管配線 (5) 小便器用節水装置への電源供給配管配線 (6) 採水口、水利看板 (7) 機器と付属操作スイッチ間の配管 (8) 付属操作スイッチ用位置ボックス (9) 付属操作スイッチの取付	- - ○ ○ ○ ○	- ○ -	機械設備より支給	
2	躯体の開口補強	(1) 貫通孔材 (2) 貫通孔材の補強筋 (3) 床、壁開口部の箱入れ及び、補強筋 (4) 貫通孔及び、箱入れ部の穴埋め (5) 上記(4)の墨出し(梁、床、壁共)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○								
3	仕上材の開口・補強	(1) 天井、間仕切りの開口(ボード等の切込み及び下地補強共) (2) アウトレットボックス類 (3) 上記の(1)(2)の墨出し (4) 外装材の貫通孔の加工 (5) 点検口(床、天井、壁)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○	構造に関わる部位の開口及び下地補強は建築工事							
4	改修工事	(1) 補強を要しない設備配管等の躯体貫通部の穴開け (2) 補強を要しない設備配管等の天井、壁ボードの切り込み (3) 設備の撤去により生じた補強を要しない床、壁の開口の穴埋め (4) 設備の撤去により生じた補強を要する床、壁の開口の穴埋め		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○								
5	衛生設備工事関係	(1) 雨水排水(配管、ます、ふた) (2) 汚水、雑排水(配管、ます、ふた) (3) 敷地内合流(雑排水合流以降の配管、ます、ふた) (4) 下水本管への接続 (5) 機械室のます、ふた (6) 屋外洗い場 (7) 便器(付属品共)、紙巻器、洗面器 (8) ライニング、洗面カウンター(洗面器は除く) (9) 鏡(600×800以下) (10) 身障用手すり (11) 衛生器具の取付下地の補強 (12) 消火器の設置 (13) タオル掛け (14) 流し台 (15) 外部土間排水樹	- - - - - - ○ ○ ○ - - ○		- ○ - ○ ○ ○ ○ ○ ○ -	構内U字側溝は建築工事							
6	空調和設備関係	(1) 外部ガラリ(ダクト接続の場合は取付枠共) (2) 内部ガラリ(ドアガラリ) (3) 換気扇用ガラリ取付枠 (4) ウェザーカバー、ペントキャップ (5) 換気扇	- - -		- ○								
7	電気設備関係	(1) 空調・衛生設備のユニット機器電源供給(1次配線) (2) 照明・自動火災報知設備の設置		○ ○									

法チェック(用途:学校)		
部屋名	属性	規定
通路	非居室	採光 検討不要【法28条1項】
前室		換気 検討不要【法28条2項】
多目的トイレ		排煙 検討不要【令126条の2 1項】
		内装制限 対象外【法35条の2、令128条の4】
		非常用照明 不要【令126条の4】
※法:建築基準法 令:建築基準法施行令		

消防設備(防火対象物:別表第1(7))	
通路	差動式熱感知器(既設)
前室	差動式熱感知器(既設)



- 法チェック図 1/100
- 【凡例】
- 改修範囲
 - 縦穴区画
 - 防火上主要な間仕切壁(建築基準法施行令第114条2項) 壁は1時間耐火構造とし、天井裏まで立ち上げること(建築物の防火避難規定の解説)



改修前 1階平面図 1/100



府中市建設部
都市デザイン課

R06.09

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----

--	--	--	--	--	--	--	--

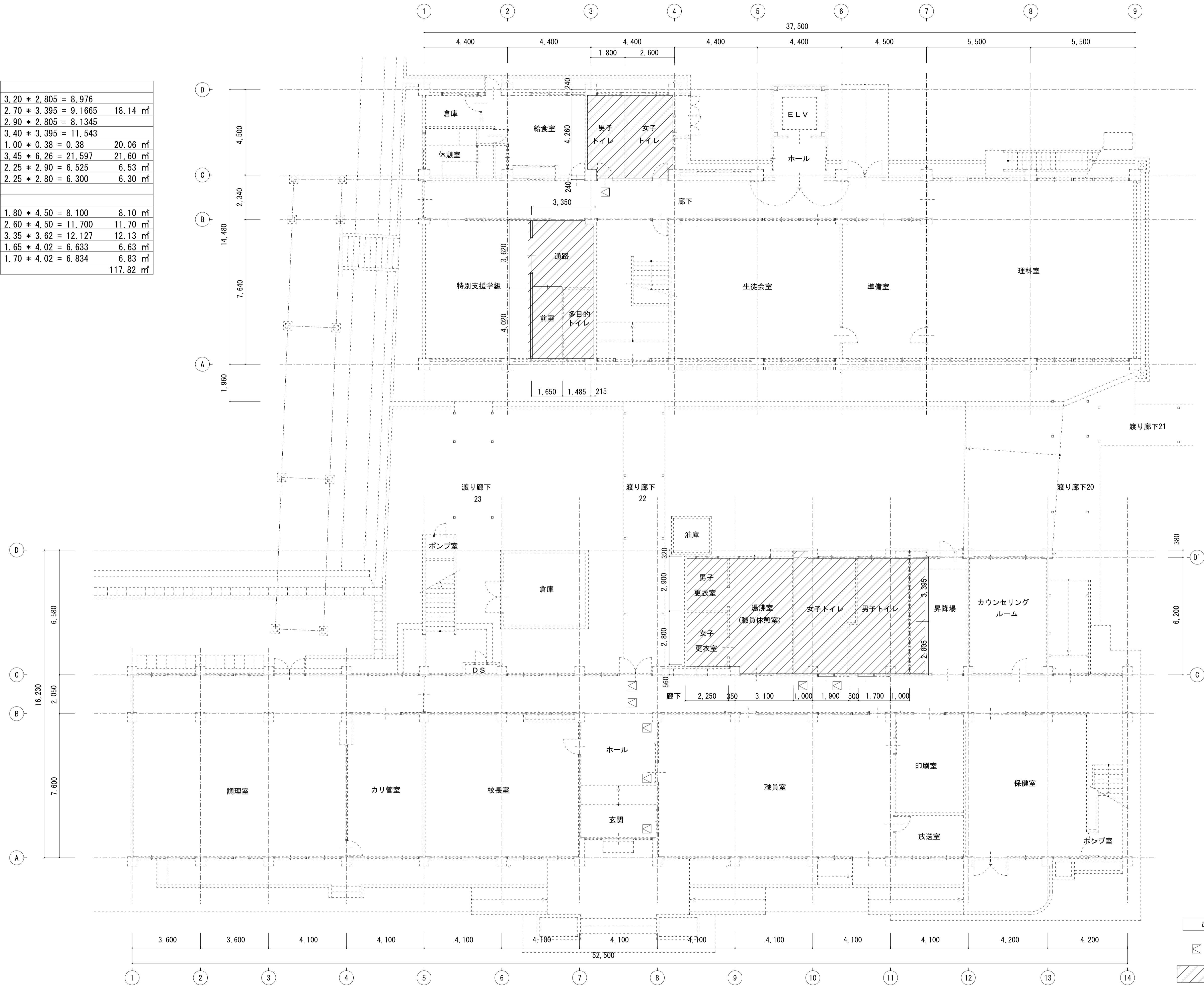
工事名 上下中学校トイレ改修工事
改修前 1階平面図

A-11

建築図

A1-100Z, A2-71Z

面積表		
南校舎 1階		
男子トイレ	3.20 * 2.805 = 8.976	
	2.70 * 3.395 = 9.1665	18.14 m ²
女子トイレ	2.90 * 2.805 = 8.1345	
	3.40 * 3.395 = 11.543	
	1.00 * 0.38 = 0.38	20.06 m ²
湯沸室	3.45 * 6.26 = 21.597	21.60 m ²
男子更衣室	2.25 * 2.90 = 6.525	6.53 m ²
女子更衣室	2.25 * 2.80 = 6.300	6.30 m ²
北校舎 1階		
男子トイレ	1.80 * 4.50 = 8.100	8.10 m ²
女子トイレ	2.60 * 4.50 = 11.700	11.70 m ²
通路	3.35 * 3.62 = 12.127	12.13 m ²
前室	1.65 * 4.02 = 6.633	6.63 m ²
多目的トイレ	1.70 * 4.02 = 6.834	6.83 m ²
計		117.82 m ²



改修後 1階平面図 1/100

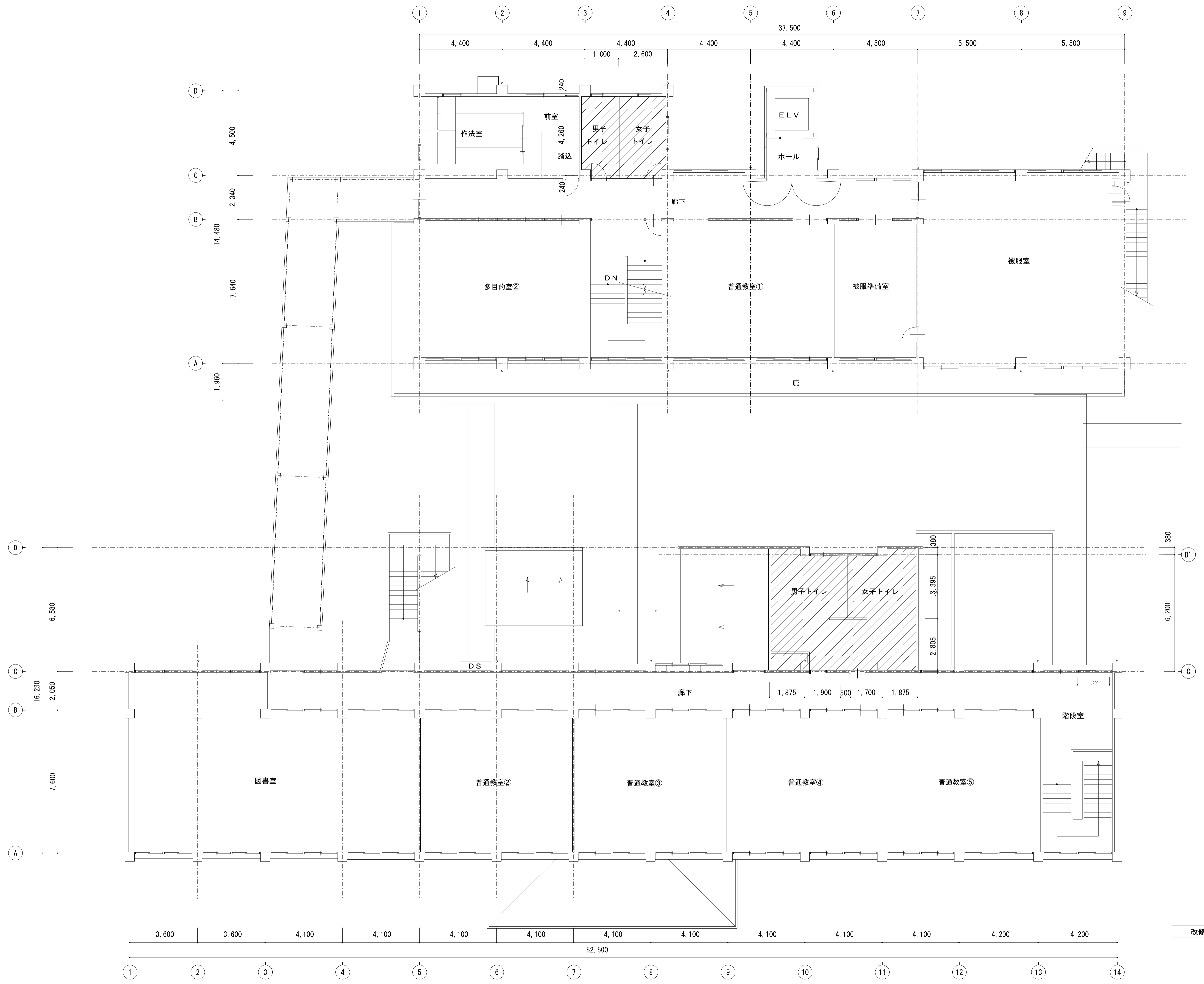
☒ 天井点検口(廊下・ホール・玄関) 新設

▨ 改修範囲

府中市建設部
都市デザイン課

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----

工事名 上下中学校トイレ改修工事
改修後 1階平面図
A-12
A1-100Z, A2-71Z
建築図



改修後 2階平面図 1/100

改修範囲

府中市建設部
都市デザイン課

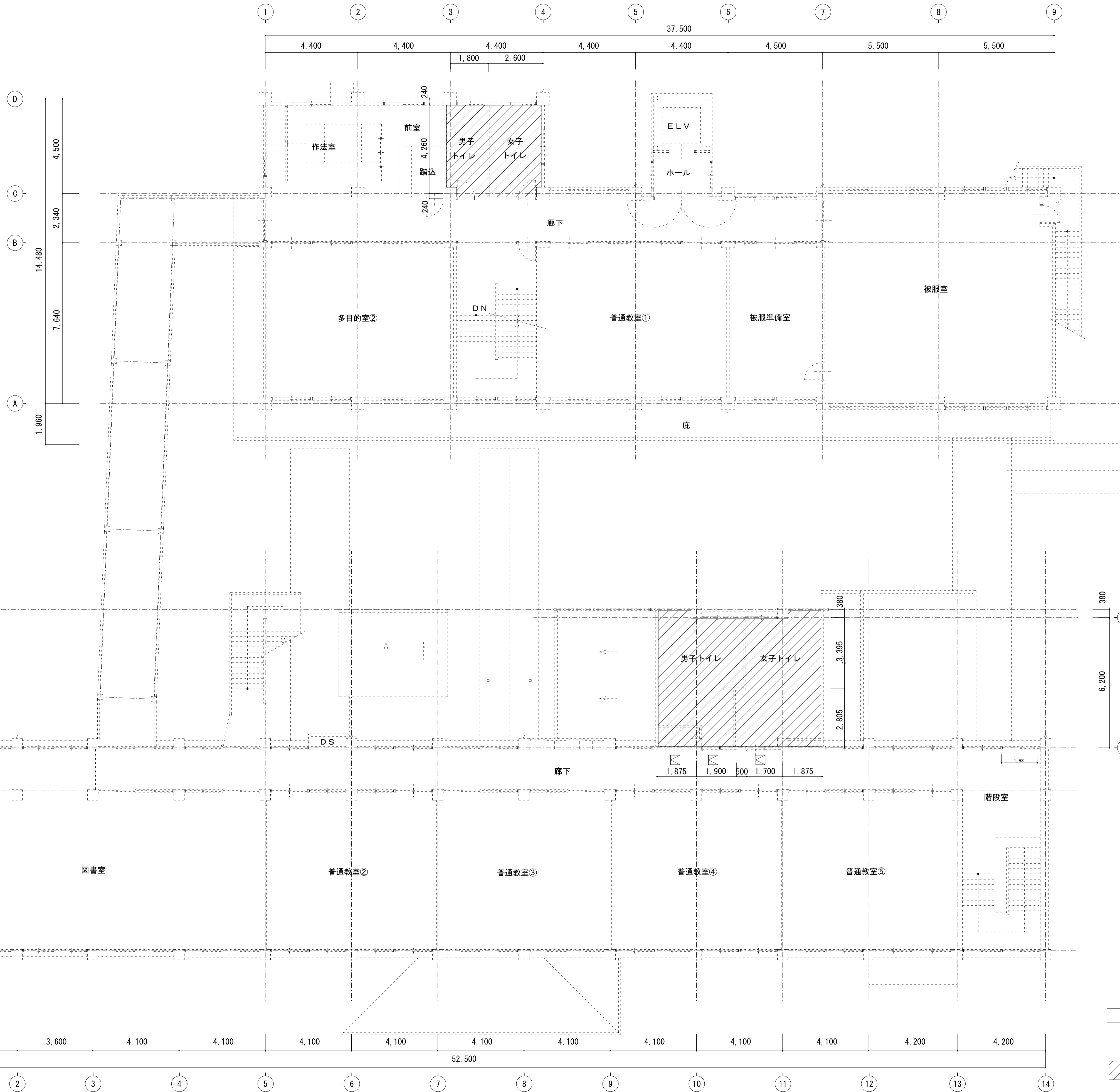
R06.09

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----

設計	校舎	設備
----	----	----

工事名 上下中学校トイレ改修工事
改修前 2階平面図

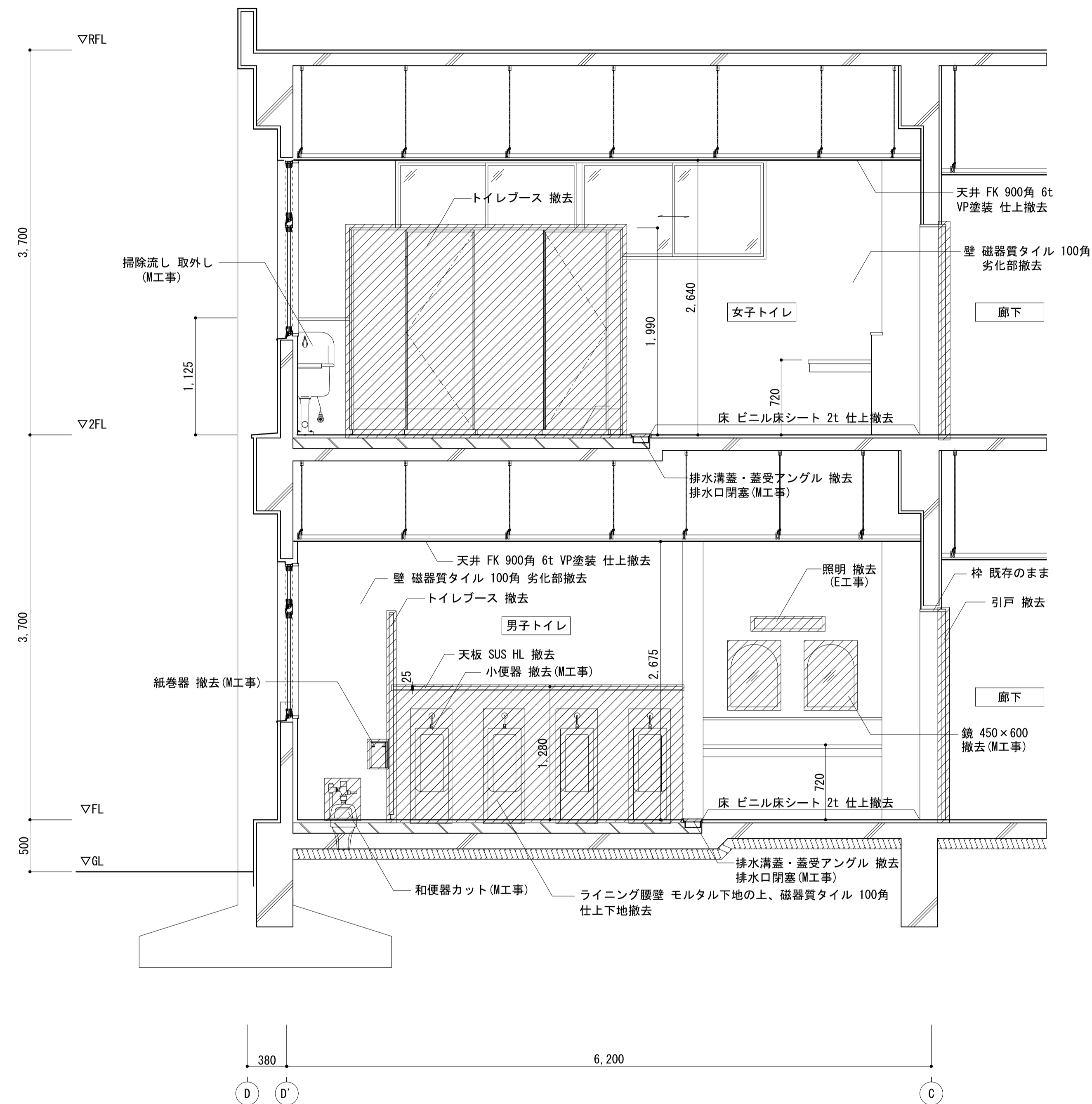
面積表		
南校舎2階		
男子トイレ	$3.775 * 2.805 = 10.589$	
	$4.275 * 3.395 = 14.514$	
	$1.875 * 0.38 = 0.7125$	25.82 m ²
女子トイレ		
	$4.075 * 2.805 = 11.430$	
	$3.575 * 3.395 = 12.137$	
	$1.875 * 0.38 = 0.7125$	24.28 m ²
北校舎2階		
男子トイレ	$1.80 * 4.50 = 8.100$	8.10 m ²
女子トイレ	$2.60 * 4.50 = 11.700$	11.70 m ²
計		69.90 m ²
1・2階合計		187.72 m ²



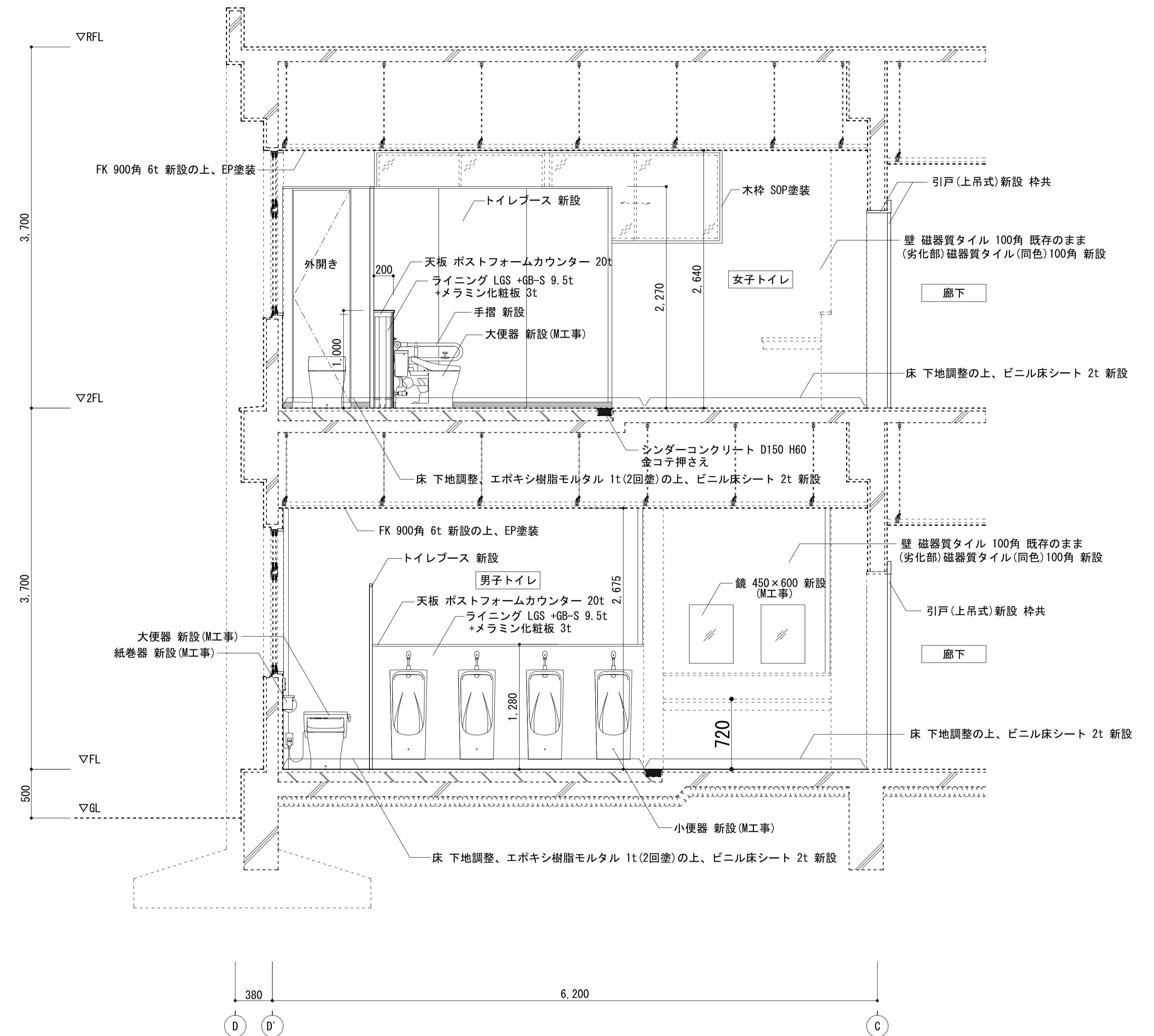
改修後 2階平面図 1/100

☒ 天井点検口(廊下) 新設

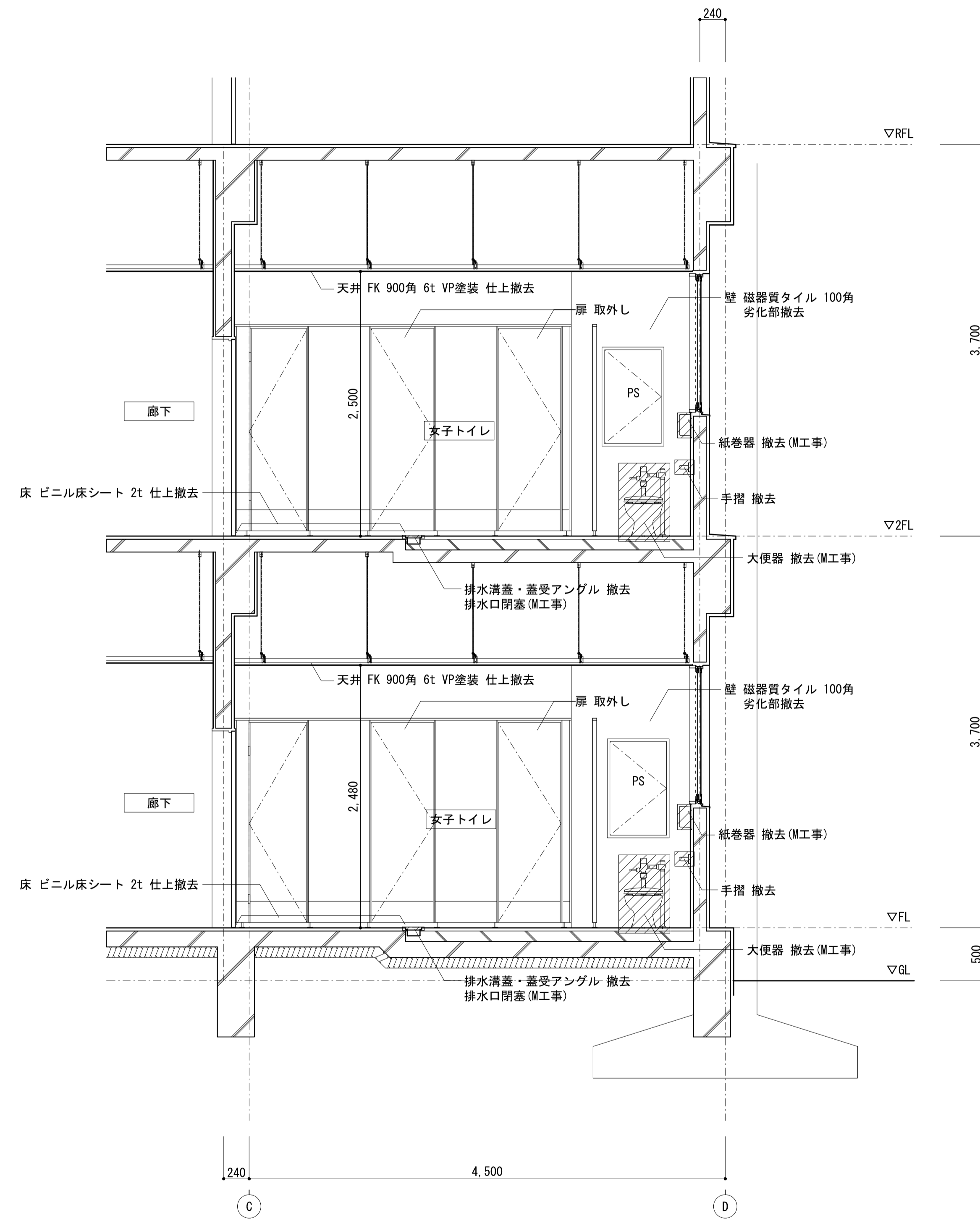
▨ 改修範囲



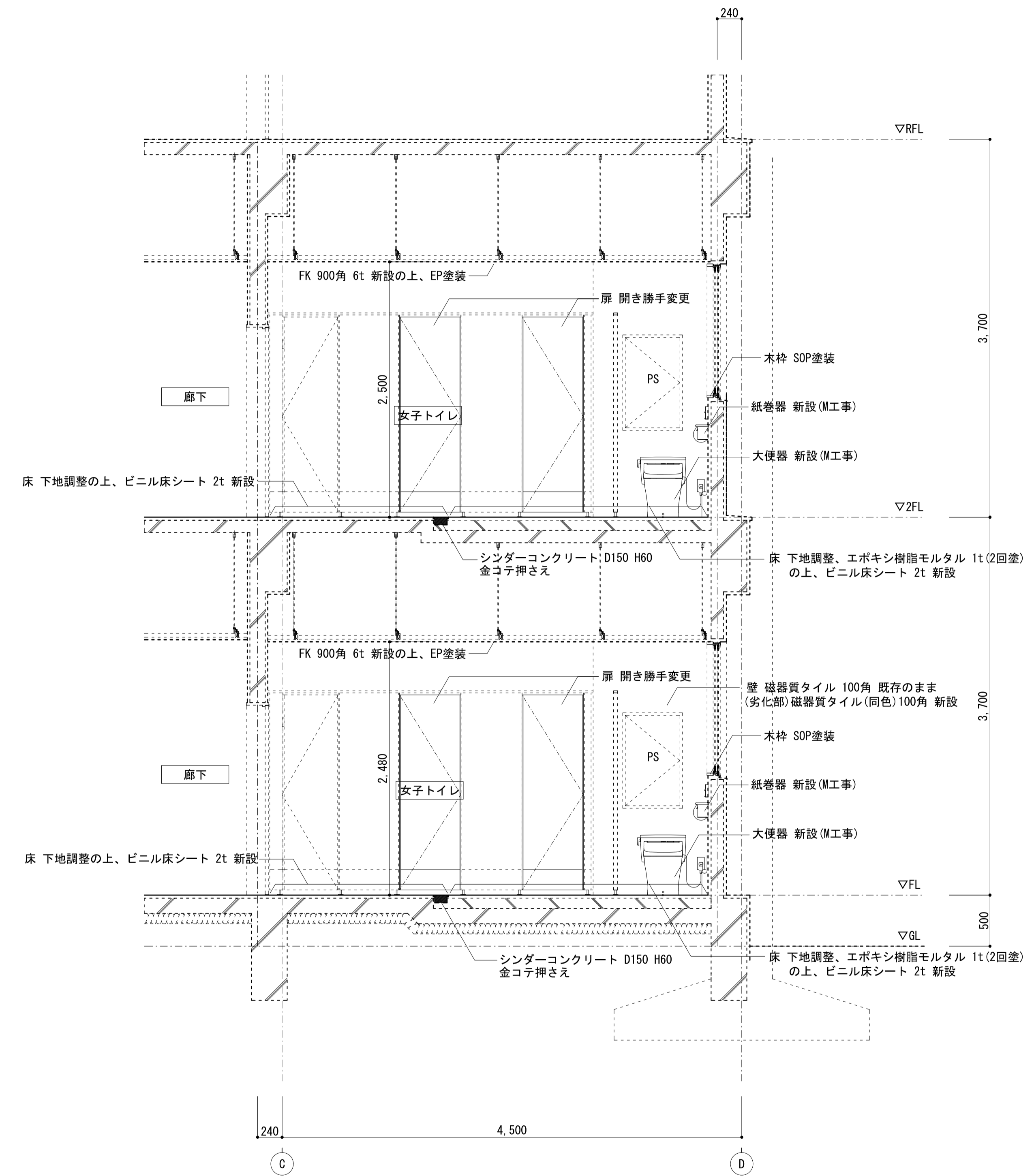
改修前 南校舎トイレ断面詳細図 1/30



改修後 南校舎トイレ断面詳細図 1/30



改修前 北校舎トイレ断面詳細図 1/30



改修後 北校舎トイレ断面詳細図 1/30